

水系でエコ型！

水系ミツチャクロン BO

アルミニウム・ステンレス
ガラス・ガルバリウム
にも塗装可能！

【水系ミツチャクロン BO】は、水溶性でありながら、他のミツチャクロンシリーズと同様に、耐薬品・耐水・耐触性に優れ、長期耐久の特性を有する超強力密着プライマーです。また、アルミニウムやステンレス、ガラス等、幅広い素材に対応でき、作業面でもペーパー研ぎが不要なので作業時間を大幅に短縮することができます。

F☆☆☆☆適合



左：16L 右：3.7L

色調 乳白色（乾燥後透明になります。）

目的 塗料と被塗物の密着力を上げるプライマー

用途 ● 外装・内装被塗面の塗り替え
● 建築素材の塗装（一部除く）

特長 1. 環境にやさしい（アルコール以外の溶剤不使用）
2. さまざまな素材に使用することが可能
3. 一切ペーパー研ぎが不要で、作業時間をぐんと短縮
4. 一液タイプなので原液のまま使用することが可能
5. 乾燥が早く、優れたレベリング性
6. ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆適合
7. 上塗り塗装も広範囲で、塗装機器を選ばず実用的

注意点

1. 厚塗りは避けてください。クボミ等への溜りが生じた場合は、その部分の密着が不良となります。
2. 常温(20℃)、湿度60%で上塗り塗料が溶剤系の場合は40分程度、水系の場合は1時間以上の乾燥時間をおいてから、塗装してください。
3. 低温時(5℃以下)または極度に湿度が高い場合には、十分な密着が得られないおそれがあります。その場合には、被塗面を温めておくか、乾燥時間を長く取るなど、塗装条件を考慮してください。
4. 密着性は経時後強力になります。
5. コンクリート、モルタル及び珪カル板等の多孔質面に塗布する場合には、一度に厚塗りせず常温(20℃)、湿度60%で20～30分の時間を取り薄く二度塗りを行ってください。

使用方法

- ① **素地調節**
被塗面の油分・汚れ・水分・ホコリ等を完全に除去してください。
- ② **下塗り**
ミツチャクロンはダブルコートで、被塗物から15～20cm程度離し、薄く均一に1回～2回塗布してください。薄膜で十分な強度が得られますので、厚塗りは避けてください。
口径1.0mmのスプレーガンで80～100g/㎡
膜厚は7～12μm程度が目安です。
刷毛・ローラーの場合、上記の2倍程度の塗布量になります。
できるだけ刷毛・ローラーをしごいてからミツチャクロンを塗装してください。
- ③ **乾燥**
上塗りに溶剤系の塗料を使用する場合は、常温(20℃)、湿度60%で40分程度、水系の場合は1時間以上乾燥時間をおいてから、塗装してください。
温度の低い時(5℃以下)、高湿度の場合は、十分な密着力が得られない場合があります。その場合は前もって被塗面を温めておくか、塗装後温めるようにしてください。
- ④ **上塗り**
使用する上塗り塗料の仕様に従って塗装してください。

■塗装可能な被塗物と密着性

素材との相性や適正な上塗りについて		水系ミツチャクロンBO	従来的一般密着剤
被塗面との密着性	アルミニウム	○	△
	アルマイト加工品	○	△
	ステンレス	○	△
	ガルバリウム	○	△
	銅	○	△
	スチール	○	◎
	カラートタン	○	○
	焼付塗装塗膜	○	○
	電着塗装塗膜	○	○
	化成皮膜処理物(※1)	○	△
	亜鉛メッキ(※2)	○	△
	鉛	○	△
	真鍮	○	△
	クロムメッキ	○	○
	コンクリート・モルタル	○	○
	ポリプロピレン(PP)	○	△
	ポリカーボネイト	○	△
	硬質塩ビ	○	△
	ABS・FRP	○	○
	ポリ化粧板	○	△
	アクリル板	○	△
	メラミン化粧板	○	△
ガラス・ホーロー	○	△	
磁器タイル	○	△	
適正な上塗り	1液反応硬化型ウレタン塗料(弱・強溶剤)	◎	○
	2液反応硬化型ウレタン塗料(弱・強溶剤)	◎	○
	2液反応硬化型アクリルウレタン塗料(弱・強溶剤)	◎	○
	1液型エポキシ塗料	○	○
	2液反応硬化型エポキシ塗料	○	○
	アクリルラッカー塗料	◎	◎
	反応硬化型水性塗料	○	○
	アクリルエマルジョン	○	△
合成ペンキ フタル酸エナメル塗料	△	△	

◎=最適 ○=適 △=あまり適していない

表記中の記載内容は、気候や素材の状態、作業環境等によって変化する可能性があります。作業中にご参考いただく一資料としてご利用下さい。

※1 ラッカー塗料は厚塗り厳禁

※2 表面処理後、酸化被膜を形成後に塗装可能

●密着の難しい素材へのテストは、広範囲に繰り返し行い、優れた結果は記載の通りですが、新しい素材も次々と開発されておりますので、経験のない素材へのご利用は念のため試験をするか、お問い合わせください。

●従来的一般密着剤は被塗物や、上塗り塗料別に使い分ける必要があります。

■性状

項目	性状
容器内の性状	乳白色液状
比重	0.94
標準塗布量	7~12μ 80~100g/m ²
作業性	吹付、刷毛塗り、ローラー塗装いずれも可
指触乾燥	15分(気温20℃)
上塗り可能時間	溶剤系-40分以上(気温20℃)
	水系-1時間以上(気温20℃)
貯蔵安定性	12ヶ月間異常なし(気温20℃)

■水系ミツチャクロンBO 標準仕様

工程	塗料・塗布量・塗装方
1. 素地調整	塗装面の汚れ(サビ、油、水分、ホコリ)を溶剤、サンドペーパー等で除去
2. 下塗り	水系ミツチャクロンBOを塗布、塗布量は80~100g/m ² 、塗装方法は、スプレー、刷毛、ローラー可
3. 乾燥	夏:30~40分、春秋:40~50分、冬:60分以上
4. 上塗り	個別上塗りの仕様により塗装

■塗膜性能試験データ

項目	性状	結果
付着性	1mm×1mmのゴバン目セロテープテスト	100/100
促進耐候性テスト	ウェザーメーター 1000時間	異常なし
屋外暴露	2年間、二次密着 100/100	異常なし
耐衝撃性	Dupon式 500g 50cm	合格
耐屈曲性	3m/mφ 180°折り曲げ	合格
耐水性	20℃水道水 240時間	異常なし
耐アルカリ性	2%水酸化カルシウム 48時間	異常なし

被塗面: SECC(磨き鋼板)

化成処理

上塗り: アクリルウレタン塗料

■環境に配慮した密着剤

	
ホルムアルデヒド放散等級	
登録番号 T18008	(社)日本塗料工業会登録
問い合わせ先	http://www.toryo.or.jp

特約販売店